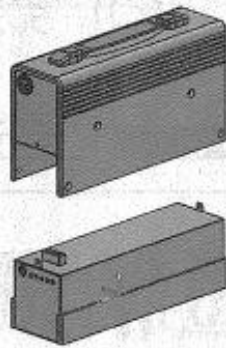


電池交換容易な ポータブル電源

バッテリーボックス着脱

エナックス

小型ポータブル電源のイメージ（コントロールボックス①）とバッテリーボックス



エナックス（東京都文京区、三枝雅貴社長、03・5689・0089）は、産業用途向けにメンテナン
 ス性を高めた電池駆動の小型ポータブル電源を開発し
 た。コントロールボックスとバッテリーボックスを組
 み合わせた構成で、本体からバッテリーボックスを着
 脱できるようにした。電池交換や顧客の要望にあった
 電源設計が容易になる。受注した3000台の量産を
 今秋にも始める。年間1万12万台の販売を目指す。
 2025年度に30億円の売り上げを目指す。

Bツীব（企業間）ボックスは直流（D
 市場に特化した小型ポ
 ータブル電源として発
 売する。出荷からメン
 テナンス、廃棄、リサ
 イクルまで対応する。
 同製品が対象のリース
 スキームを構築し、保
 守付きリースを準備し
 てる。

一般的に小型ポータ
 ブル電源は制御部分と
 電池部分が同一筐体
 にある。ただ電池交換
 の際は解体するなどの
 手間がかかる。今回、
 上部のコントロールボ
 ックスと下部のバッテ
 リーボックスの組み合
 わせ方式にして電池を
 交換しやすくした。
 構造を分離したこと
 で制御部分も顧客への
 カスタム対応が幅広く
 できる。コントロール

ボックスは直流（D
 C）出力モデルを中心
 に、使用する機器に合
 わせて出力電圧をDC
 5〜30Vの範囲で指定
 できる。カスケード
 （多段）接続にも対応
 する。

今後は交流（AC）
 出力モデルの導入も模
 討する。企業の事業維
 統計画（BCP）ニ
 ズが高まるなか、非常
 用電源向けの展開も図
 る。顧客のカスタマイ
 ズ要望やOEM（相手
 先ブランド）の受託開
 発も視野に入れる。

エナックスはリチウ
 ムイオン電池の開発か
 ら試作受託、製造、販
 売まで手がける。小型
 ポータブル電源はすで
 に1万台を超える販売
 実績がある。